

発 注 仕 様 書

1. 委託名：令和2年度訪日外国人旅行者周遊促進事業
阿蘇旅を満喫するツールと環境づくり業務委託

2. 場 所：熊本県阿蘇市

3. 背 景：

九州のほぼ中央に位置する「阿蘇くじゅう国立公園」は、我が国を代表する国立公園であり、周囲約 100 km に及ぶ世界最大級のカルデラ地形のただなかにある阿蘇五岳と、北東部のくじゅう連山は無辺の草原によって一体となり、今なお続く活発な火山活動からは、地球の鼓動を直に体感することができる。

熊本県の阿蘇エリアと大分県のくじゅうエリア、そして両地域を見渡す大パノラマと阿蘇の火砕流によって形成された美しい峡谷に彩られる宮崎県の高千穂エリア。三県に広がる地域は、自然景観はもとより、歴史的、文化的に見ても紛れもなく一連の地域であり、このことは地域の観光振興戦略においても欠くべからざる視点である。

また、5 万人の人々が暮らすカルデラの様を一望の下に収められるのは世界的に見ても阿蘇だけであり、地球科学的価値をもつ一大観光地として阿蘇くじゅう地域を「日本の顔」と言っても過言ではない。

4. 目 的：

阿蘇くじゅう観光圏は、平成 14 年度から阿蘇カルデラツーリズムの開発（地域づくり）と公共交通のシステム化（再編効率化）を複合的した取り組みである「スローな阿蘇づくり」を推進してきた。今後は、域内で磨き上げてきた様々な仕組みをさらにステップアップさせ、国内外から選好される国際競争力の高い魅力ある観光地域を形成するため、地域の「ブランド」の確立を通じた日本の顔となる観光地域づくりと、日本を代表するデスティネーションとしてのポジションを国内外で確立する。

当該地域のブランドコンセプトを体感できる滞在プログラムの創出においては、これまでに主たる滞在促進地区や主要な交流地区での観光地域づくりを進めてきた。商店街、農村集落、温泉街など、その地域に合った環境と受け皿づくりを進めてきた。このような魅力的な地域へも外国人旅行者が足を踏み入れ、ゆっくりとその地域の暮らしに触れてもらうなど、滞在交流型の仕組みへと転換を図る。

アドベンチャーツーリズムの国際機関 ATTA (Adventure Travel Trade Association) の CEO ら幹部が阿蘇地域を視察した際に聞いた話によると、欧米豪の旅行者は地域のディープな文化や歴史に興味を持たれる傾向にあるとのこと。そこで、「商店街→グルメ」「集落→暮らし」「山→トレッキング」の 3 つにテーマを絞り、それぞれの滞在マップ（パンフレット）を作成することで、外国人旅行者の阿蘇地域における滞在時間の長期化と周遊を図る。

5. 内 容：

外国人旅行者に阿蘇旅を満喫してもらうための滞在マップ等の作成及び環境づくり

1) 門前町商店街グルメマップの作成

阿蘇神社は、平成 28 年 4 月に発生した熊本地震の影響により被災し、現在もなお復旧途上にあり、その復興は令和 5 年の見込みである。近年、横参道に位置する門前町商店街は、「水基」と呼ばれる豊富な湧き水に加え、あか牛肉の料理を提供するなど魅力的な店舗が増加している。外国人旅行者が気軽に立ち寄れるランチ情報や、泊食分離を推進するためのディナー情報など、外国人旅行者を受け入れること

が可能な店舗を紹介するグルメマップ（英語版）を作成する。

2) 手野集落巡りマップの作成

手野集落は、「農」を柱に次の世代が暮らし働けるための地域づくりを推進している。対価が得られる仕組みとして、コケ栽培やカラー栽培、農業農村体験交流事業への着手、手野米のブランド化を進めている。また、集落を案内する「手野名水会」も存在し、拠点となる古代の里キャンプ場の管理は地元の「手野きよら会」が担う。さらに、阿蘇神社の元宮と云われる「国造神社」も鎮座している。この2千年の歴史ある集落で外国人旅行者が「暮らし」に触れてもらうための散策マップ（英語版）を作成する。

3) 田子山トレッキングマップの作成

田子山は、主たる滞在促進地区である内牧温泉街から気軽に歩いて登れる北外輪の一画で、頂上では内牧温泉街を含めた阿蘇谷と阿蘇五岳の景観が一望できる、地域住民からも親しまれている小高い山である。最近では、NHK 放送のテレビ番組「ブラタモリ」でも紹介され、隠れたスポットとしても注目される。また、宿泊施設では共同で、田子山の頂上で朝食を提供する試行も実施中にある。そこで、内牧温泉街と田子山をつなぐ外国人旅行者向けトレッキングマップ（英語版）作成する。

4) 上記マップ3点の仕様について

作成する上記3点のマップ等の仕様について、カラー印刷で、ボリューム的にはA4判8ページ以上とし、仕上がりの形は任意による提案方式とする。

6. 工 期：

契約締結の日から令和2年9月30日まで

7. 成 果 品：

- | | |
|----------------------|------------|
| 1) 実施報告書／紙媒体（A4判）： | 3部 |
| 2) 各コースマップ等（様式任意）： | 20,000部×3種 |
| 3) CD-ROMまたはDVD-ROM： | 1部 |

8. 注意事項等：

- 1) 本業務を履行するうえで知り得た情報等については、第三者に開示または漏洩しないこと。
- 2) 本業務の成果物となる報告書および二次的著作物については、公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンターに帰属するものとする。
- 3) 本業務の実施にあたっては、関係する法令および諸規程を遵守すること。
- 4) 本仕様書に記載のない事項であって、本業務の遂行に必要と認められる事項が発生した場合には、監督職員に速やかに協議し、その指示に従うこと。
- 5) 情報媒体の多言語化については、その翻訳の作業過程において、別途第三者によるチェック機能を付加し、より制度の高い、そして信頼性のある情報を提供する。
- 6) 限られた期間内での作成であるため、既存の資料画像の活用などについては可能とするが、著作権等の確認を得たうえで、使用の許可を認めるものとする。

9. 特記事項等

ブランドコンセプトは、下記のとおり設定している。

「阿蘇カルデラ ～命きらめく草原の王冠～」

Grassland Crown filled with soul “ASO Caldera volcano”

阿蘇の外輪山は、カルデラに暮らす人々にとって自らの矜持を漉し固める紗幕であり、旅人にとって日常世界を転換させる結界線である。その外輪山を際立たせるのが稜線に広がる草原、そして悠久の時間である。大気はそよぎ、草は芽吹き、水は循環し、そして人々の希望がきらめく。

人々はその緑香る高みに身を置くとき、心を鎮め、人生を遠望する。まるで大きな力に抱擁されるよう、安寧の心持ちから新たな光明、澄みわたる救済を得ることができる。

人生観あるいは死生観。阿蘇のカルデラもまた巡りゆく時間の一断面をなす。比類なき自然と人々が折り合いをつけてきた阿蘇カルデラは、単に景勝地であることを超え、命魂の蘇生をことほぐ別天地であることを世界へ訴求する。